

【基本方針Ⅰ】

生涯を通じて学び、夢や希望に向かって挑戦し続ける 人づくり

これからは、人生100年時代と言われています。このような時代においては、年齢を問わず学び続け、夢や希望に向かって挑戦し続けること、生涯学習を通じて自らを高めることが大切となります。そして、教養を高めることや自己実現を図るために学ぶこと、健康に関心をもつことなどは、生涯を通じたウェルビーイングの向上につながります。

【基本施策】

- ① 生涯学び続け、学びをいかし活躍できる機会の充実と支援
- ② 確かな学力の育成
- ③ キャリア教育の推進
- ④ 体力づくり・健康づくり・食育の推進

基本施策1

生涯学び続け、学びをいかし活躍できる機会の充実と支援

- 市民の主体的な学習活動を推進するため、様々な関係機関と連携しながら、時代や社会の変化、市民の学習ニーズに応じた多様な学習機会の提供を効果的に進めます。
- 市民が生涯を通して学習した成果を人づくりや地域づくりにいかす循環型生涯学習の推進に一層力を入れていきます。
- 生涯にわたる学びの基礎となる読書習慣の定着を図るため、読書環境の整備を図ります。

施策指標	現状値 (2023)	目標値 (2032)
生涯学習活動で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボランティア活動にいかしている市民の割合	16.1%	22.0%
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していると肯定的に回答した児童生徒の割合	小6 76.7% 中3 71.7% (※)	小6 80.0% 中3 75.0%

※「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していると肯定的に回答した児童生徒の割合」の現状値は2022年の数値。

●指標一覧（指標選定の考え方等）をP86～P89に記載。

基本施策2

確かな学力の育成

- 児童生徒一人一人の学ぶ意欲を高め、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成できるよう、教育活動の支援体制の整備・充実を図ります。
- 幼児教育の質を高める取組を推進するとともに、小学校教育との円滑な接続や、小学校と中学校、中学校と高等学校の連携を進めます。
- 幼児教育から中等教育を通して、幼児の自発的な遊びを通じた学びや、児童生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるなど「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組を進めます。
- こどもたちの学習の基盤となる言語能力や情報活用能力などを育成するため、学校図書館の機能を十分にいかした読書環境の整備やこどもの読書活動を推進します。

施策指標	現状値 (2023)	目標値 (2032)
学ぶことが楽しいと回答した児童生徒の割合	現状値なし	小6 80.0% 中3 80.0%
学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしていると回答した児童生徒の割合	小6 85.5% 中3 88.1%	小6 91.0% 中3 91.0%
学校で学んだことを普段の生活の中で役立てていると肯定的に回答した児童生徒の割合	小6 83.6% 中3 81.2%	小6 86.0% 中3 86.0%

基本施策3

キャリア教育の推進

- 児童生徒が夢や希望に向かって挑戦し続けることができるよう、学校の特徴や地域の実情を踏まえつつ、発達段階にふさわしいキャリア教育を推進します。
- 児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、将来、社会的・職業的に自立し、様々な人とかわり、自分らしく生きる資質・能力を育みます。

施策指標	現状値 (2023)	目標値 (2032)
将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	小6 80.7% 中3 64.7%	小6 88.0% 中3 76.0%
総合的な学習（探究）の時間の中で、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した児童生徒の割合	小6 80.8% 中3 87.4%	小6 85.0% 中3 90.0%

基本施策 4

体力づくり・健康づくり・食育の推進

- 学校と家庭・地域が連携し、児童生徒が、運動の大切さや楽しさを知ることのできる環境を整えることで、健やかな身体を育みます。
- 市民が自らの心身の健康に関心をもち、健康の保持増進、疾病の予防など、生涯にわたって健やかに生きるための主体的な健康づくりができるよう支援します。
- 児童生徒の性と健康に関する普及啓発・相談支援に係る取組の充実を図ります。
- 児童生徒がバランスのよい食事や正しい食事マナー、食物の大切さなどを理解し、望ましい食習慣を身に付けられるよう、家庭や地域と連携した食に関する指導を推進します。
- 食育の生きた教材となる学校給食の充実を図ります。

施策指標 (◆関連指標：市長部局で 設定している指標)	現状値 (2023)	目標値 (2032)
「運動が好きですか」に対して肯定的に回答した児童生徒の割合	小5 90.4% 中2 81.9%	小5 92.0% 中2 88.0%
健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていると回答した児童生徒の割合	現状値なし	小6 90.0%以上 中3 90.0%以上
◆自分が健康だと思う市民の割合	75.7%	(※)

※新潟市総合計画2030において、中間目標（2026）は、「現状値を上回る」、最終目標（2030）は、「中間値を上回る」と設定されている。

【関連する市長部局の主な施策】

- ・ 心と身体の健康の増進（保健衛生部、消防局）
- ・ 文化芸術活動の活性化（文化スポーツ部）
- ・ 生涯スポーツ社会の実現（文化スポーツ部）
- ・ 地域団体・市民団体の活動の推進（市民生活部）
- ・ 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援（こども未来部）
- ・ 男女共同参画の推進（市民生活部）
- ・ 地域企業の持続的発展に向けた経営支援（経済部）
- ・ 多様な支援による移住・定住の促進、関係人口の創出（経済部）